

環境にやさしいまちづくり

2月は暖房の使用などで、エネルギー消費が増大するため、ウォームビズやウォームシェアなど、省エネを呼びかけるキャンペーンが全国で実施されます。ご存じのように日本は、石油

やガスなどのエネルギー資源が乏しく、その自給率は先進国の中でも最も低い水準となっています。更に東日本

市長室より

Next!
岡崎
次の新しい おかざき



岡崎市長
内田 康宏

大震災後は、化石燃料への依存が高まり、二酸化炭素排出量の増加による地球温暖化対策が、これまで以上に求められています。

先日、市内の自動車工場を視察させていただく機会がありました。自動車業界では、ハイブリッド車や電気自動車、燃料電池車など、目覚ましい技術開発が進み、未来を見据えた次世代のモノづくりが始まっています。

本市においても、災害に強く環境にやさしい最先端のまちづくり「スマートコミュニティ」の検討を始めました。市内に2カ所のモデル地区を設定し、太陽光発電やごみ発電、水素発電などを利用して、車から家庭の電力に転用できるシステムなどを産学官の連携により進めています。これからも「夢ある次の新しい岡崎」を市民の皆さんと共に進めていきたいと考えています。